

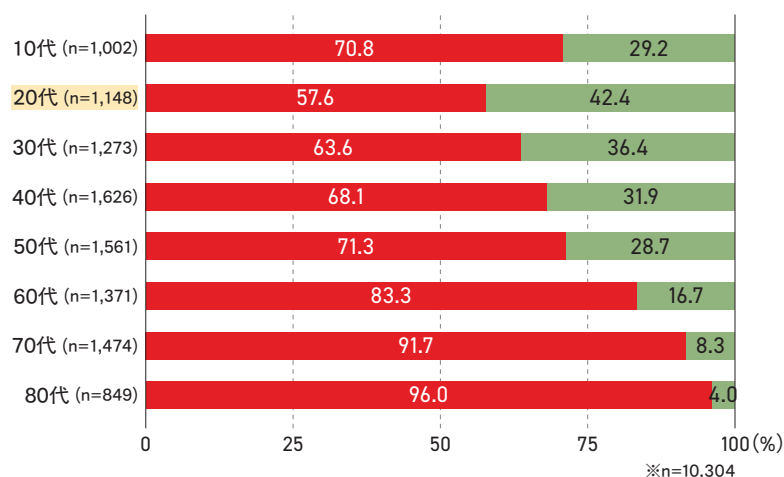


朝食キャンセル。 多いのは若年層と一人暮らし

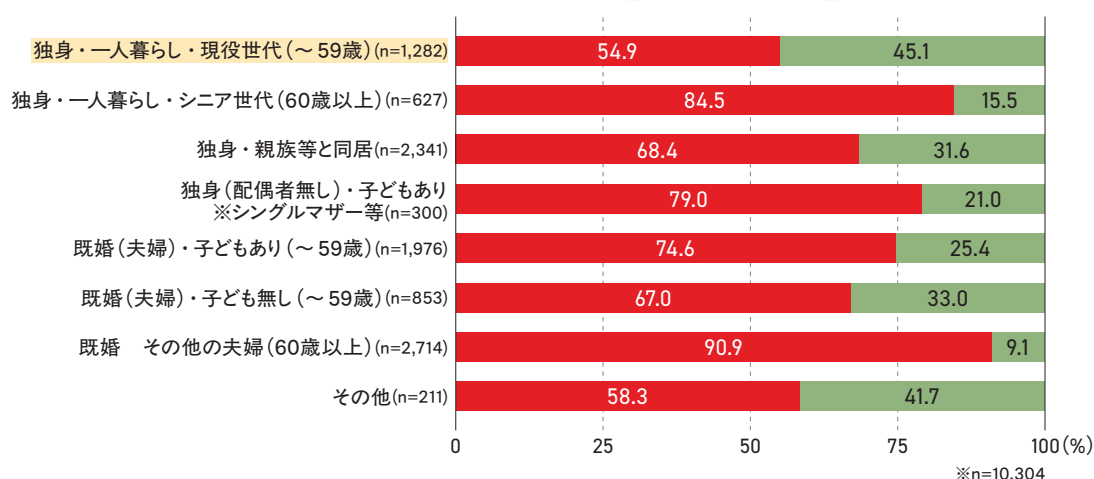


ほぼ毎日朝食を食べる人の割合は10代から20代で10ポイント以上ダウン。20代が最も欠食率が高くなりました。その後は年齢とともに欠食率は低下していきます。一方、ライフコース別で見ると、独身一人暮らしの現役世代(～59歳)で欠食率が最も高く、さらに学生についても、一人暮らしの欠食率の高さが際立つ結果となりました。

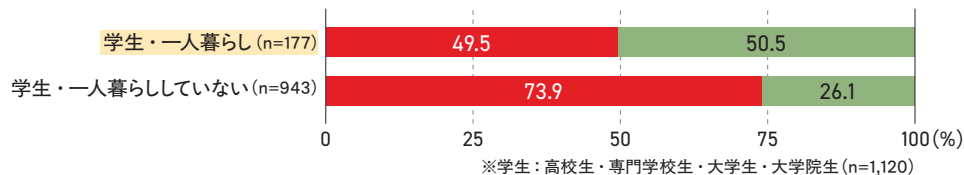
● 年代別「ほとんど毎日食べる」と「欠食あり」の割合



● ライフコース別「ほとんど毎日食べる」と「欠食あり」の割合



● 学生一人暮らし状況別「ほとんど毎日食べる」と「欠食あり」の割合



ほとんど毎日
(週6日以上)食べる

欠食あり
(「週4～5日食べる」
～「食べない」の計)